

氏名	西岡博輔		
学位の種類	医学博士		
学位授与番号	乙第24号		
学位授与の日付	昭和37年6月6日		
学位授与の要件	博士の学位論文提出者 (学位規則第5条第2項該当)		
学位論文題目	脳の遊離アミノ酸について		
論文審査委員	教授 奥村二吉	教授 水原舜爾	教授 陣内伝之助

学位論文内容要旨

第I編 下垂体剔除の脳遊離アミノ酸およびその関連物質におよぼす影響 (IX)

昭和34年3月25日 岡山医学会雑誌 第71巻4号の1, 1635頁掲載

第II編 甲状腺剔除の脳遊離アミノ酸およびその関連物質におよぼす影響 (XII)

昭和35年7月30日 岡山医学会雑誌 第72巻5, 6, 7合併号1293頁掲載

第III編 ヒト脳各部位の遊離アミノ酸およびその関連物質 (XIII)

昭和35年7月30日 岡山医学会雑誌 第72巻5, 6, 7合併号1299頁掲載

各種生体条件下の脳遊離アミノ酸の一連の研究として、私は下垂体ならびに甲状腺の脳アミノ酸プールへの影響について、又、ヒト脳の各部位の正常アミノ酸パターンについて研究し、次のような結論をえた。

1. 下垂体剔除ダイコクネズミ脳では、総アミノ窒素の減少とともにグルタミン酸群のアミノ酸、アラニン、セリン、グルタチオン、グリセロホスホエタノラミン、N-アセチルアスパラギン酸の減少を認めた。
2. 甲状腺剔除ダイコクネズミ脳では殆んど正常範囲の値を保った。
3. 成人脳は下等動物脳ならびに胎児脳とはアミノ酸パターン上明瞭な相異を示した。脳梁ではグルタミン酸群のアミノ酸、ホスホエタノラミンが甚だ少かった。淡蒼球ではr-アミノ酪酸が驚異的に多く視床下部よりも著しく高い値を示した。延髄ではホスホエタノラミン、アスパラギン酸、グルタミン酸の含量が少かった。各部位で少量ながらシスタチオニンの存在を認めた。

論文審査の結果の要旨

西岡博輔 提出の「脳の遊離アミノ酸について」に関する学位論文につき審査した結果の要旨は次の通りである。

各種生体条件下の脳遊離アミノ酸の一連の研究として、彼は下垂体ならびに甲状腺の脳アミノ酸プールへの影響について、又ヒト脳の各部位の正常アミノ酸パターンにつき研究し、次のような結論をえた。

1. 下垂体剔除ダイコクネズミ脳では、総アミノ窒素の減少とともにグルタミン酸群のアミノ酸、アラニン、セリン、グルタチオン、グリセロホスホエタノラミン、N-アセチルアスパラギン酸の減少を認めた。
2. 甲状腺剔除ダイコクネズミ脳では殆んど正常範囲の値を保った。
3. 成人脳は下等動物脳ならびに胎児脳とはアミノ酸パターン上明瞭な相異を示した。脳染ではグルタミン酸群のアミノ酸、ホスホエタノラミンが甚だ少かった。淡蒼球では γ -アミノ酪酸が驚異的に多く視床下部よりも著しく高い値を示した。延髄ではホスホエタノラミン、アスパラギン酸、グルタミン酸の含量が少かった。各部位で少量ながらシスタチオニンの存在を認めた。

以上の通り論文は新しい知見に富み、学術上有益であり、著者は医学博士の学位を授与せられるべき学力を有すると認める。